

大分工業高等専門学校 足踏みミシンボランティア活動



活動の目的と概要

大分高専では大分県内外の家庭等から寄贈された古く壊れた足踏みミシンを分解・修理し、そのミシンを東南アジア諸国の貧困層などに贈呈することにより現地の人々の生活および就労支援を図ることを目的とした学生参加型の国際ボランティア活動を行っています。

活動は平成15年に大分青少年団体連絡協議会（現 大分県青少年国際交流機構）から「貧困層の子供達に縫製技術を身に付けさせる自立支援活動」への参加の依頼が契機となり、「足踏みミシンボランティア」の活動はスタートしました。これまでにタイ王国、インドネシア共和国、マレーシア、フィリピン共和国の村や学校、地域自立支援センターなどへ100台を超える足踏みミシンを贈呈しました。

2007年から2009年の3年間は文部科学省の大学改革プログラム（現代G P）、2010年から2011年の2年間は、財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の自治体国際協力促進事業（モデル事業）に採択されたことから、修理した足踏みミシンを東南アジア諸国に贈呈するだけでなく、ミシンボランティア部の学生と教職員が現地へ渡航して、現地の故障した足踏みミシンの修理および現地の人に対して修理技術の指導などを行いました。2007年はタイ王国、2008年はインドネシア共和国、2009年と平成2010年度ではマレーシア、また2011年はフィリピン共和国においてミシンボランティア活動を実施しました。

2003年から2011年年までの9年間に亘る活動の実績として、参加した学生の延べ人数は128名、本校から現地へ贈呈した足踏みミシンは145台、現地では壊れた足踏みミシン27台を修理しました。

今後も本校の教育理念である「人間性に溢れ国際感覚を備えた技術者の育成」に基づいたミシンボランティア活動に取り組んでいきます。

国内活動

- 寄贈していただいた足踏みミシンの修理
- 足踏みミシンのメンテナンスと管理

国外活動

- 足踏みミシン輸送先のニーズ調査と輸送
- 現地での足踏みミシン修理技術の指導（平成19年度より実施）と国際交流

足踏みミシン修理及び贈呈台数等

年度	ボランティア 参加学生数	足踏みミシン修理台数		日本から現地への 足踏みミシン贈呈台数
		学内	現地	
15	11名	18台		18台(タイ王国)
16	5名	10台		0台(輸送困難のため)
17	17名	25台		2台(タイ王国)
18	12名	40台		0台(輸送困難のため)
19	11名	34台	10台(タイ王国)	30台(タイ王国)
20	17名	24台	9台(インドネシア)	20台(インドネシア)
21	17名	20台	4台(マレーシア)	20台(マレーシア)
22	17名	15台	4台(マレーシア)	15台(マレーシア)
23	21名	40台	0台(フィリピン)	40台(フィリピン)
24	17名			

ボランティア学生の現地での修理活動は、平成19年度から実施

現地での活動の様子

○平成19年 タイ王国



○平成 20 年 インドネシア共和国



○平成 21 年, 平成 22 年 マレーシア



○平成 23 年 フィリピン共和国



足踏みミシン修理マニュアル

海外でのミシンの修理およびメンテナンスの技術指導においては、現地の方々が十分に修理技術を習得することができるように渡航先の言語に翻訳した修理マニュアルを用いて技術指導を実施しています。また、技術指導後、現地の方々だけでミシンの修理が出来るように足踏みミシンと併せて同マニュアルを贈呈しています。



インドネシア語



マレー語



英語

1. STRUCTURE

① THE NAME OF THE SEWING MACHINE BODY

② THE NAME OF THE SEWING MACHINE STAND

① TABLE	② TOP BOARD	③ FRONT COVER	④ SIDE DRAWER	⑤ BELT CONTROLLER	⑥ LEGS
⑦ BELT COVER	⑧ BELT WHEEL	⑨ CONNECTING ROD	⑩ CRANK	⑪ FOOT BOARD	

3. REPAIR/ CLEANING

- POLISH A THREAD TENSION PLATE
- POLISH A KETTLE
- POLISH A BODY, WIPE AND DUST OFF
- LUBRICATE REGULARLY
- POLISH A BODY AND LEGS, LUBRICATE THE EACH JOINT.

4. PUT TOGETHER

- PUT THE PARTS TOGETHER IS THE REVERSE ORDER OF TAKING IT TO PIECES.
- PUT A THREAD TENSION TOGETHER IS CAREFULLY
- LUBRICATE THE EACH JOINT

5. SEWING MACHINE OIL

- A GOOD USAGE OF A SEWING MACHINE IS LUBRICATING AND CLEANING REGULARLY.
- LUBRICATE: ONE DROP ONE TIME IN THE PART OF THE ARROW OF THE FIGURE BEFORE USING THE SEWING MACHINE.
- CAUTION : DON'T USE OTHER OIL(COOKING OIL OR CAR OIL) BECAUSE IT MIGHT BREAK.
- SUITABLE PLACE FOR THE SEWING MACHINE: KEEP OUT THE PLACE CLOSE TO SUNNY, FIRE, AND A HUMID PLACE.

6. INSTALL A LETHER BELT

1. MAKE A LETHER BELT THROUGH THE BELT WHEEL AND THE FLY WHEEL. THEN TIGHTEN IT BY HAND.
2. MARK THE CUT POINT AND THE PUNCTURED POINT WHILE TIGHTEN IT.
3. UNFASTEN THE LETHER BELT FROM THE BELT WHEEL, AND PUNCTURE IT.
4. PIERCE THE BELT HOOK THROUGH THE HOLES AND PRESS IT HARD WITH A NIPPER.
5. AGAIN, PUT THE BELT ON THE BELT WHEEL - DON'T TIGHTEN TOO STRONG, NOT AS A FLY WHEEL SLIPS.

PUT IT TOGETHER

英語に翻訳した修理マニュアルの一部

活動報告と報道

現地での活動後の帰国前には、現地の JICA 事務所を訪問し活動報告を行っています。また、学内外の教育研究集会等での活動発表により他高専、外部評価委員、本校の産学交流会である大分高専テクノフォーラムの会員等、大分市内で開催された「おおいた国際協力啓発月間（主催；大分市、JICA 九州）」においても高い評価を得ています。

平成 21 年には財団法人国際ソロプチミスト大分一府内支部および日本財団本部から社会ボランティア賞を受け、新聞、テレビ、ラジオ等の報道により、同活動に対する大分県民の認知度が向上し、多くの足踏みミシンの提供を受けています。



JICA インドネシア事務所での活動報告



JICA マレーシア事務所での活動報告



JICA フィリピン事務所での活動報告



学内での報告会



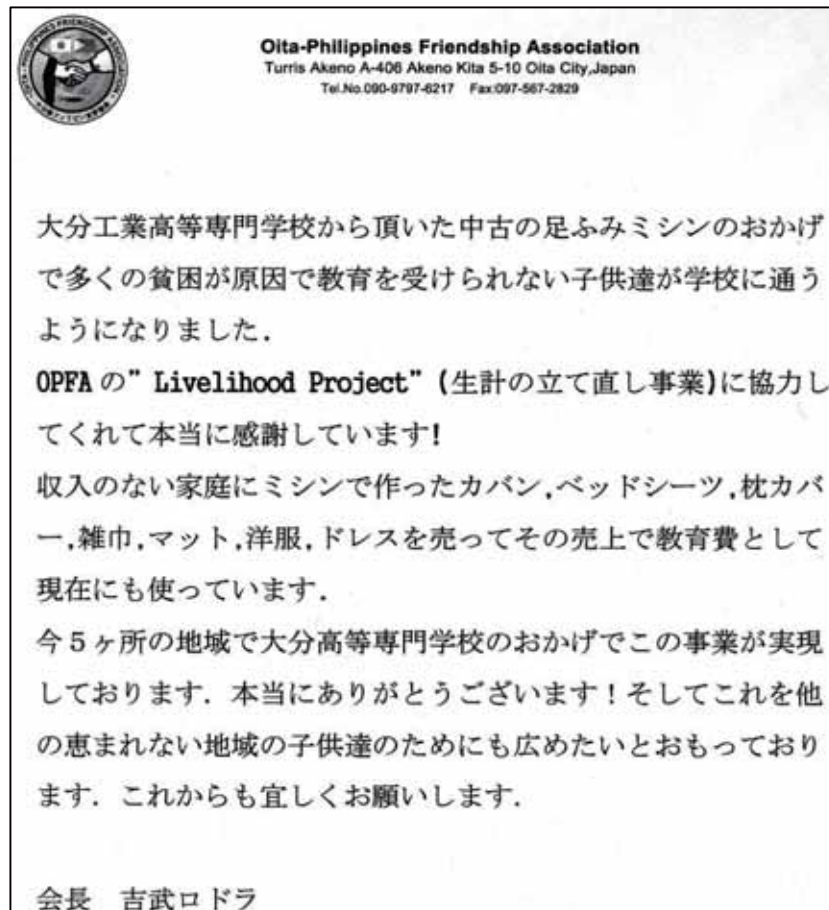
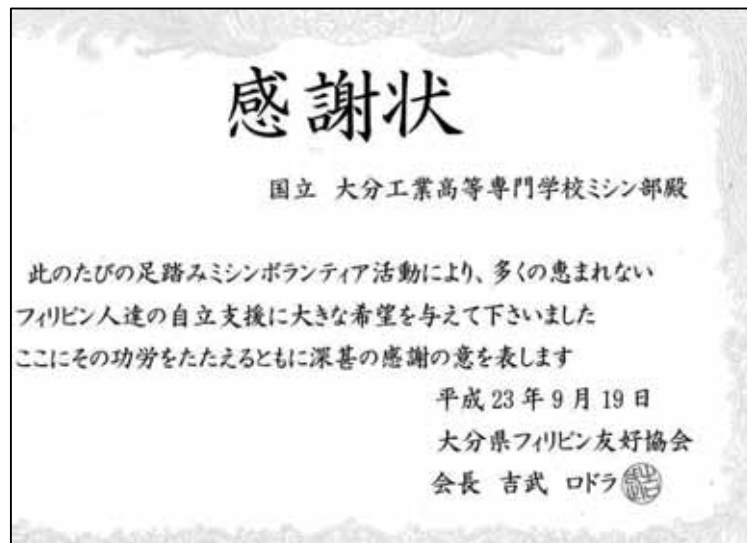
NHK の取材



おおいた国際協力啓発月間 in2011

大分県フィリピン友好協会からの感謝状

平成 23 年度にフィリピン共和国の 5 箇所の地域自立支援センターへ贈呈した足踏みミシンは、同センターの職員および貧困地域の住民等に大いに活用されています。貧困のために教育を受けられなかった多くの子供や孤児達と同ミシンを用いた縫製品の販売収入により教育や生活支援を受けられるようになったこと、またミシンの縫製技術修得により就労の機会を得た人達など、フィリピン共和国で実施した足踏みミシンボランティア活動は貧困層の人々の生活向上および就労支援に大きく貢献しています。



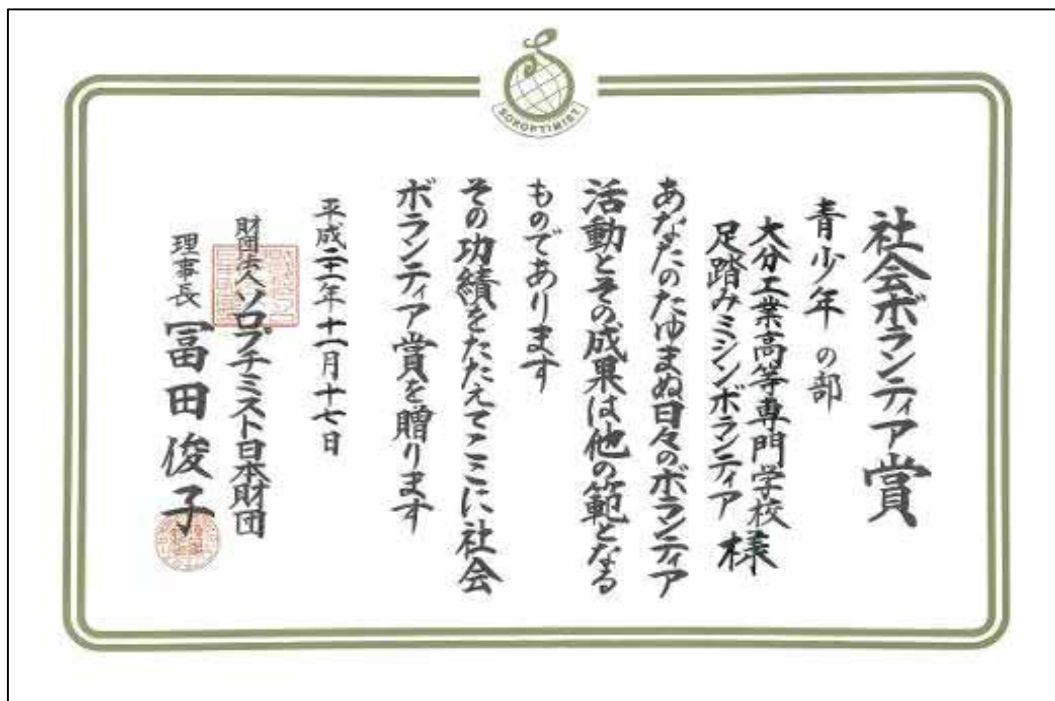
受賞・発表

○受賞

- ・平成 17 (2005) 年 8 月 27 日 日本高専学会 学生奨励賞 (宮川敬太郎)
- ・平成 21 (2009) 年 5 月 21 日 財団法人国際ソロプチミスト大分一府内 青少年の部 社会ボランティア賞
- ・平成 21 (2009) 年 11 月 17 日 財団法人ソロプチミスト日本財団 青少年の部 社会ボランティア賞
- ・平成 22 (2010) 年 3 月 3 日 土木学会 (土木学会教育企画・人材育成委員会 高等専門教育小委員会) 土木教育賞 国際貢献 (三浦 望)

○発表

- ・平成 18 (2006) 年 12 月 5 日 大分高専テクノフォーラムで発表
- ・平成 21 (2009) 年 3 月 7 日 大分高専現代G Pフォーラムで発表 (中間報告)
- ・平成 22 (2010) 年 1 月 12 日 大分高専現代G Pフォーラムで発表 (最終報告)
- ・平成 22 (2010) 年 10 月 2 日 大分市・J I C A九州主催の「おおいた国際協力啓発月間 in 2010」において活動内容を発表
- ・平成 23 (2011) 年 10 月 22 日 大分市・J I C A九州主催の「おおいた国際協力啓発月間 in 2011」において活動内容を発表
- ・平成 23 (2011) 年 12 月 3 日 第 1 5 回大分高専テクノフォーラムで発表



平成 21 年 財団法人ソロプチミスト日本財団
青少年の部 社会ボランティア賞

『ご家庭等で使われなくなった足踏みミシンの寄贈のお願い』

東南アジア諸国において貧困層が居住する地域の家庭には、教育を受けることができない子供、十分な食事を摂れない子供等が少なくありません。また、そのような地域は社会インフラの整備が不十分なために電気が供給されていない地域、電気が供給されていても貧困のために電気を買うことができない人々が多く居住しています。そのような人々の生活支援および経済的自立支援の一つとして電気を使用しない足踏みミシンの活用は有効だと思います。

ご家庭等で使われなくなった、壊れた足踏みミシンがございましたら、ご寄贈をお願いいたします。ご寄贈いただいた足踏みミシンは本校のミシンボランティア部の学生が修理した後、それらを東南アジア諸国の貧困層へ贈呈することにより彼らの経済的自立支援に役立てます。これまでに足踏みミシンを贈呈した学校、地域からはお礼の返事とともに更なるミシンの贈呈要請が届いています。

ご寄贈をしていただける方は、お手数をお掛けいたしますが、下記窓口までご連絡下さい。

大分高専足踏みミシンボランティア 担当窓口

電話； 097-552-6365（平日8時30分～17時00分）

メール； gshien@oita-ct.ac.jp

窓口； 大分工業高等専門学校 学生課 学生支援係

『足踏みミシン輸送に伴う経済的ご支援を』

平成19年度から平成21年度は文部科学省教育改革プログラム「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）、平成22年度から平成23年度は財団法人自治体国際化協会（CLAIR）「自治体国際協力促進事業（モデル事業）」の採択に伴う財政支援により東南アジア諸国に125台の足踏みミシンを贈呈することができました。

平成24年度の足踏みミシンの輸送については、学外からの財政的支援等がないことから、本来、教育や学生活動に使うべき学内予算からの支出を予定しています。しかし、その予算も逼迫しており、今後の東南アジア諸国への足踏みミシン輸送に伴う費用の確保は課題であります。学内の教職員および学生からの募金だけでは不足しますので、この費用の確保のために皆さま方にご寄付のご協力をお願いする次第です。本趣旨にご理解いただき、何分のご配慮を賜れば幸いに存じます。

本趣旨にご賛同いただけます場合には、大変お手数お掛け致しますが、以下の寄付金申込書をダウンロードしていただき下記担当窓口までお送り下さい。

【寄附金申込書 doc.】 【寄付金申込書（記入例） doc.】

寄付金受入 担当窓口

お電話； 097-552-6450（平日8時30分～17時00分）

メール； kikaku@oita-ct.ac.jp

窓 口； 大分工業高等専門学校 総務課 企画係

お問合せ先

足踏みミシンボランティア活動について

大分高専足踏みミシンボランティア 担当窓口

電話 097-552-6365（平日8時30分～17時00分）

メール gshien@oita-ct.ac.jp

窓 口（事務） 大分工業高等専門学校 学生課 学生支援係

大分高専足踏みミシンボランティア 活動担当者

技術部 設計創造室長 岩本 光弘

電話 097-552-6391（平日8時30分～17時00分）

メール iwamoto@oita-ct.ac.jp

足踏みミシンの寄贈について

大分高専足踏みミシンボランティア 担当窓口

電話 097-552-6365（平日8時30分～17時00分）

メール gshien@oita-ct.ac.jp

窓 口 大分工業高等専門学校 学生課 学生支援係

活動資金等のご寄付について

寄付金受入 担当窓口

電話 097-552-6450（平日8時30分～17時00分）

メール kikaku@oita-ct.ac.jp

窓 口 大分工業高等専門学校 総務課 企画係